

講義録レポート

講義録コード

00-5-13-103-01

講 座	簿記検定講座	科目①	—
目標年	2015年6月合格目標	科目②	全国公開模試（商会）
コース	1級直前コース	回 数	— 回
用 途	個別DVD ・ 集合DVD WEB通信 DL通信 ・ DVD通信 ・ 資料通信		

講師名	丹羽 敬紀 先生	内 訳	板書 枚数 〇 枚 ※レポート 含まず 補助レジュメ 枚数 2 枚 その他 () 枚
-----	----------	-----	---

授業構成	解説 50 分		
実施テスト	☒ 有 ・ 無		
対応テスト	＜ミニテスト＞	ミニテスト	第 回
	＜答練・演習＞	全国公開模試	
使用教材	●基本テキスト P. ～ P. ●レジュメ [] P. ～ P. ●その他 [] P. ～ P.		
配布教材	●教材(テキスト・問題集) () ●補助レジュメ () 2 枚 ●その他 () 枚		講義録添付 ☒ 有 ・ 無 講義録添付 ☐ 有 ・ 無
備考	～DVD・Web受講生各位～ 黒板を写すカメラのスイッチング（切替）は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に写らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上ご受講ください。受講生の皆様にはご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。		

TAC簿記検定講座

【全国公開模試 1級 商業簿記・会計学】

商業簿記 目標解答時間 60 分以内, 目標得点 20 点以上

会計学 目標解答時間 30 分以内, 目標得点 20 点以上

1. タイム・テーブル

資本金	500,000		500,000		500,000		500,000
資・剰	250,000		250,000		250,000		250,000
利・剰	140,700	+50,000	190,700	+100,060	290,760	△20,000, +169,940	440,700
有・評	600	+30	630	+30	660	+120	780
退・累	△300	△30	△330	△90	△420	△60	△480
評 価	9,000		9,000		9,000		9,000
計	900,000		950,000		1,050,000		1,200,000
S・株	651,000						
P・持	630,000						
のれん	21,000	△1,050	19,950	△1,050	18,900	△1,050	17,850
非・持	270,000		285,000		210,000		240,000
			△95,000		商 △960		商 △1,680
					貸 + 36		貸 + 60
					209,076	+29,304 →	238,380

(1) 非支配株主持分の当期首残高・当期末残高

- ① 資本の合計に持分割合 20%を掛けて本来の持分を計算します。
- ② 未実現利益の消去や貸・引の減額修正による非支配株主持分の負担額を加減します。

(2) 非支配株主持分の当期変動額

当期首残高と当期末残高の差額で求めると簡単です。

2. 退職給付に関する連結修正仕訳

本来は開始仕訳 3 回, 当期の期中仕訳 1 回, あわせて 4 回に分けて行うべきですが, 開始仕訳の 3 回分は, まとめて書いても OK です。

ただし, S 社分だけは, 上記タイム・テーブルのように区別できるように計算してください。

・開始仕訳 (3 回分)

P 社 税・資	500	退・負	1,250	S 社 税・資	280	退・負	700
退・累	750			退・累	420		

・期中仕訳

P 社 税・資	60	退・負	150	S 社 税・資	40	退・負	100
退・調	90			退・調	60		

連結包括利益計算書のその他の包括利益に計上するとともに,
連結株主資本等変動計算書の当期変動額にも計上します。

3. S 社株式の追加取得（支配獲得後の追加取得）

P 社が S 社を支配している状態での、S 社株式の追加取得や一部売却は、企業集団全体で見ると、株主との直接的な取引（資本取引）に該当するため、持分の変動による差額は「資本剰余金」で処理します。

P 社持分の増加 → 非・持 95,000 / S・株 94,000 ← 追加投資額
 = 非支配株主持分の減少 / 資・剰 1,000 ← 差額は「資本剰余金」

4. 主な科目の集計

(1) 連結損益計算書の科目（法人税等調整額と非支配株主に帰属する当期純利益）

法・調		非・利益	
商品 3,200	P 4,000	利益 33,988	商品 1,680
貸引 200	S 1,940	商品 960	貸引 36
	商品 5,600	貸引 60	33,292
16,260	貸引 120		
	土地 8,000		

(2) 連結株主資本等変動計算書の科目（3つの科目の当期首残高だけ）

利・剰・首		有・評・首		退・累・首	
140,700	P 540,000	600	P 10,200	P 750	300
1,050	S 290,760	9	S 660	S 420	9
15,000	貸引 144	6			18
1,050		10,245			843
20,012	※ 商品と貸引は相殺後の純額で書いています。				
商品 3,840	商品：8,000－3,200－960＝3,840				
649,252	貸引：300－120－36＝144				

(3) 連結貸借対照表の科目（繰延税金資産・負債だけ）

繰延税金資産・負債は流動・固定に分類した上で、流動同士、固定同士の資産と負債は相殺後の純額で記載します。ただし、P 社分と S 社分を相殺することはできないことに注意してください。

P・流動		S・流動		
6,000		3,000	貸引 200	
		商品 5,600	8,400	∴ 6,000＋8,400＝14,400<資産>
P・固定		S・固定		
12,000		7,200	土地 6,000	
退職 500	20,560	退職 280	1,520	∴ 20,560＋1,520＝22,080<資産>
退職 60		退職 40		
土地 8,000				